



ツワブキ

キク科

葉の表面が「つや」のある「フキ」の仲間です。ツワブキの名があります。冬季、50cm程度の花茎の先に径約5cmの黄色い花を多数咲かせ、冬の風物詩となっています。



クロツグ

ヤシ科

沖縄在来のヤシで、長さ3mくらいの羽状葉が地面から扇状に広がる樹形が特徴です。幹をおおう黒い繊維は、縄や網などに利用されてきました。初夏に独特の甘い香りのするオレンジ色の花をつけ、径約2cmの実が橙赤色に熟れます。クロボシセリの食草です。



クワズイモ

サトイモ科

大きいものは高さ2m近くになり、葉はハート形で大型で目立ちます。茎を切ったりすると、汁が皮膚に付いてかゆくなることがあり、また地下のイモは食べられません。熟した実は赤くなります。



トウツルモドキ

トウツルモドキ科

ホロホローの森でよく目につく、竹のように見えるつる性植物。葉の先端が巻きひげとなり、他の樹木などに巻きつきます。昔はこの茎を利用してカゴなどを編んでいたそうです。秋季に赤い実をつけます。



遊歩道から見える具志頭浜



多彩な動植物が見られる遊歩道